≪実務経歴書の入力上の注意事項と入力イメージ≫

■実務経験をまとめて入力するときの注意事項■

実務経歴書は担当した物件・案件ごとに新しい順に（1）～（8）まで入力し、作成する必要があります。**原則※、（8）以外の入力欄にまとめて入力することは認められません。**同一の勤務先において申請する実務が9件以上ある場合は**（1）～（7）の入力欄までは１件ずつ記載し、残りの物件を（8）の入力欄にまとめて記載してください。**

※期間が1ヶ月に満たない実務を継続して実施した場合を除く。（⇒ガイドブックp. 49）

（1） ━ CLOSE

申請する建築実務を担当した物件、案件ごとに、（1）から新しい順に入力を進める。

実務経験の対象となる期間 ✖ チェックを解除	◉①令和2年3月以降 ○②平成20年12月～令和2年2月 ○③平成20年11月以前
実務経験の対象となる業務	選択 ＊建設業法別表第一に掲げる建築一式工事の施工管理 ・ 原則として元請が実施する施工の技術上の管理（施工管理業務は一つの工種を担当する業務を含む。また特定の工種でなく品質管理・工程管理・安全管理等を担…
建築工事の種類	1.建築一式工事
開始年月～終了年月	2023(R5) 年 4 月 ～ 2024(R6) 年 3 月　建築実務の割合 100 % 重複期間は自動で減ぜられます
物件の名称等	Aマンション
物件の所在地（市区町村までは記入）	○○県○○市
工事種別	新築工事
物件情報 用途	共同住宅
物件情報 構造	鉄筋コンクリート
物件情報 階数	5 階建
物件情報 延べ面積	3 ㎡（数字を区切るためのカンマは入力できません。）
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に）	共同住宅の新築工事において、建築一式工事の施工管理のうち、全工程の工事（基礎工事から内装仕上工事）を担当した。 ※150文字以内

【物件の名称等】
守秘義務等の都合で具体的に記載できない場合は、イニシャル等で入力する。

【物件の所在地】
守秘義務等の都合で具体的に記載できない場合でも、市区町村名までは入力する。

【物件情報】
具体的な情報を入力する。
わからない場合は実務経験として認められません。

【実務経験の対象となる業務の内容】
具体的な情報を入力する。
単語の羅列や「改修工事」「リフォーム工事」等の業務内容が不明な表現は実務経験として認められません。

（2） ━ CLOSE

（1）の入力を全て完了させないと、（2）は、展開できません。

実務経験の対象となる期間 ✖ チェックを解除	◉①令和2年3月以降 ○②平成20年12月～令和2年2月 ○③平成20年11月以前
実務経験の対象となる業務	選択 ・ 内装仕上工事（建築物の改修に係るものであり、次のいずれかに該当するものに限る。 ・建築物の構造躯体まで露出させるもの ・仕上げ材の下地調整に関わるもの ・間仕切り壁の設置で、床・天井…
建築工事の種類	1.建築物の構造躯体まで露出させるもの
開始年月～終了年月	2023(R5) 年 1 月 ～ 2023(R5) 年 3 月　建築実務の割合 100 % 0年3ヶ月 重複期間は自動で減ぜられます
物件の名称等	B邸
物件の所在地（市区町村までは記入）	○○県○○市
工事種別	改修工事
物件情報 用途	専用住宅
物件情報 構造	木 造
物件情報 階数	3 階建
物件情報 延べ面積	200 ㎡（数字を区切るためのカンマは入力できません。）

(6)

実務経験の対象となる期間 ✖ チェックを解除	◉①令和2年3月以降 ○②平成20年12月～令和2年2月 ○③平成20年11月以前
実務経験の対象となる業務	選択 ＊建設業法別表第一に掲げる建築一式工事の施工管理 ・ 原則として元請が実施する施工の技術上の管理（施工管理業務は一つの工種を担当する業務を含む。また特定の工種でなく品質管理・工程管理・安全管理等を担…
建築工事の種類	2.大工工事
開始年月～終了年月	2021(R3)年 1月 ～ 2021(R3)年 6月　建築実務の割合 100 %　0年6ヶ月 重複期間は自動で減ぜられます
物件の名称等	F様邸
物件の所在地（市区町村までは記入）	○○県○○市
工事種別	新築工事
物件情報 用途	専用住宅
物件情報 構造	木 造
物件情報 階数	1 階建
物件情報 延べ面積	150 ㎡（数字を区切るためのカンマは入力できません。）
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に）	専用住宅の新築工事において、着工から竣工までの全工程における、大工工事の施工管理を った。

(7)

実務経験の対象となる期間 ✖ チェックを解除	◉①令和2年3月以降 ○②平成20年12月～令和2年2月 ○③平成20年11月以前
実務経験の対象となる業務	選択 ＊建設業法別表第一に掲げる建築一式工事の施工管理 ・ 原則として元請が実施する施工の技術上の管理（施工管理業務は一つの工種を担当する業務を含む。また特定の工種でなく品質管理・工程管理・安全管理等を担…
建築工事の種類	1.建築一式工事
開始年月～終了年月	2021(R3)年 1月 ～ 2021(R3)年 12月　建築実務の割合 100 %　0年6ヶ月 重複期間は自動で減ぜられます
物件の名称等	G事務所
物件の所在地（市区町村までは記入）	○○県○○市
工事種別	新築工事
物件情報 用途	事務所
物件情報 構造	鉄筋コンクリート 造
物件情報 階数	5 階建
物件情報 延べ面積	2000 ㎡（数字を区切るためのカンマは入力できません。）
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に）	事務所の新築工事において、建築一式工事の施工管理のうち、全工程の工事（基礎工事から内装仕上工事）を担当した。 ※150文字以内

【実務を行った期間が重複する場合】
重複する期間はどちらか一方に計上される。
重複して入力しても自動で減ぜられます。
例：（6）と（7）で2021年1月～6月が重複しているので、（7）では2021年7月～12月の分しか計算されない。

・（８）でまとめ書きする時の入力方法はこちらを参考してください。

・（８）は、①、②、③の期間を通して入力できますが、「実務経験の対象となる業務」が特定の期間において実務経験ならないものが含まれている場合は、実務経験年数に数えられませんので注意してください。（例　②平成20年12月～令和2年2月の期間において、「内装仕上げ工事」を選択している場合は実務経験になりません。（内装仕上げ工事は①、③の期間のみ実務経験となる））

（8） ← **（1）～（7）までに入力が無い場合は、8件目でまとめ書きできません**

実務経験の対象となる期間 ✖ チェックを解除	☑①令和2年3月以降 ☑②平成20年12月～令和2年2月 ☐③平成20年11月
実務経験の対象となる業務	選択　＊建築一式工事、大工工事、建築設備の設置工事の施工の技術上の立場の実務】
建築工事の種類	1.建築一式工事
開始年月～終了年月	2015(H27) 年 4 月 ～ 2020(R2) 年 12 月　建築実務の割合 80 %　4年7.2ヶ月 重複期間は自動で減ぜられます
物件の名称等	住宅、マンションなどの新築工事・改修工事の施工管理
物件の所在地（市区町村までは記入）	－
工事種別	―
物件情報　用途	－
物件情報　構造	－
物件情報　階数	1 階建
物件情報　延べ面積	1 ㎡（数字を区切るためのカンマは入力できません。）
実務経験の対象となる業務の内容（できるだけ具体的に）	①平成２７年４月から令和２年１２月までの４年7.2ヶ月間（割合80%）は、②専用住宅、集合住宅等の建築一式工事、大工工事の施工管理を２０件担当した。③期間中に建築実務にならない各部工事等の施工管理を20%ほど行ったので80%としている。④ ※150文字以内

入力する期間に、認められていない実務経験が含まれていないか注意する。期間中に認められていない実務経験がある場合は、建築実務の割合を減らす。
例：平成20年12月～令和2年2月の「建築一式工事に該当しない工事の施工管理」は実務経験として認められていません。

（参考）実務経験要件について（PDF）

（8）の入力欄に8件目以降の物件をまとめて入力する場合は、業務の内容を簡潔に入力する。

（8）の入力欄に8件目以降の物件をまとめて入力する場合は、次のとおり。
・物件の所在地、工事種別、用途、構造：「―（ダッシュ）」
・階数、延べ面積：「1」

（8）の入力欄に8件目以降の物件をまとめて入力する場合は、「実務経験の対象となる業務の内容」欄に、
①経験期間
②業務内容
③期間内に担当した件数
④建築実務の割合（割合が100%以外の場合のみ）
を入力する。適切な入力が無い場合は、実務経験として認められません。